

B-1 単元計画

(1) 構成法「起承転結」を意識した感想文の書き方(2年「ゼブラ」「字のないはがき」光村図書)

単元計画(総時数 11時間)

時間	ねらい ・学習活動	学習活動の具体の評価規準				
		国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
(1～5時間は読むに関する学習)						
6・7	感想を交換しよう ○「ゼブラ」「字のないはがき」の感想をメモに書き、交流することができる。 ・感想を伝えたい相手を決め、感想メモに書く。			自分の考えや思いをメモの形式でわかりやすく書いている。 Cへの手だて 自分が一番伝えたいことに絞って書くよう助言する。 Aとするキーワード 適切な内容、形式 ワークシート		
8	○感想メモの交流を経て深まった自分の考えを、構成を考えたながら、文章にまとめる。 ・メモを交換する中で深まった感想を文章にまとめる。			メモの交換によって深まった感想を、構成を工夫しながら文章にまとめている。 Cへの手だて ワークシートの記入状況を見て、起承転結を使ったまとめ方を助言する。 Aとするキーワード 適切な内容、構成の工夫 シートの記述		
9	感想の深まりを伝え合おう。 ○感想交流会の計画を立て準備を進める。 ・感想交流会を計画し、進行や分担を決め、準備を進める。	感想交流会の意義を理解し、自分の役割分担を積極的にこなそうとしている。 Cへの手だて 自分の役割が果たせるよう個別に支援する。 Aとするキーワード 意欲的な取り組み 行動観察				
10・11	○感想交流会を開き、よりよい書き方を目指す。 ・感想交流会を開き、参加者からの感想や講評を聞くことで、個々の構成法について検討する。			お互いの感想を交流し合い、そこで出た意見や講評を参考に作品を見直す。 Cへの手だて 他の人の感想文をよく聞き、参考とするよう助言する。 Aとするキーワード 効果的な推敲 適切な指摘 発表、メモ		

(2) 構成法「双括式」を意識した報告文の書き方(3年「報告文を書こう」光村図書)

単元計画(総時数 12時間)

時間	ねらい・学習活動	学習活動の具体的評価規準				言語についての知識・理解・技能
		国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	
1 ・ 2	<p>日本語を考えよう</p> <p>○「詩が生まれるとき」と「日本語は乱れているか」を読んで言葉について関心を持つ</p> <p>・2つの文章を読み、筆者が言葉についてどう考えているかとらえる</p>	<p>毎日使っている日本語について書かれていることから考えるきっかけを見つけようとしている。</p> <p>☐への手だて きっかけとなり そうなコラム記事などを用意する。</p> <p>☐とするキーワード 積極的 発言, 挙手</p>		<p>筆者の詩や日本語に対する見方を理解し, 日本語の乱れについて意見文を書くときの参考にする。</p> <p>☐への手だて 教材文の記述のポイントとなる ところを提示し 理解を助ける。</p> <p>☐とするキーワード 的確, 意欲的 発言, ノートの記述</p>		
3 ・ 4	<p>○言葉についての調査と報告文のまとめ方について理解する。</p> <p>・言葉について調査し, 自分の考えを報告文にまとめる</p>	<p>身近な言語生活を取材して自分の考えをまとめ, 進んで書こうとしている。</p> <p>☐への手だて 項目を入れたワークシートを準備する。</p> <p>☐とするキーワード 積極的 活動の様子</p>		<p>調査したことをもとに構成法を理解し, 双括式で自分の考えを報告文にまとめる。</p> <p>☐への手だて 調査方法やまとめ方について個別指導する。</p> <p>☐とするキーワード 的確, 独自の工夫 行動観察, 報告文の記述</p>		